
2024年3月期 第2四半期
決算説明資料

－決算概要および当社の取り組みについて－



岩井コスモホールディングス

Iwai Cosmo Holdings, Inc. (証券コード：8707)

2023年11月

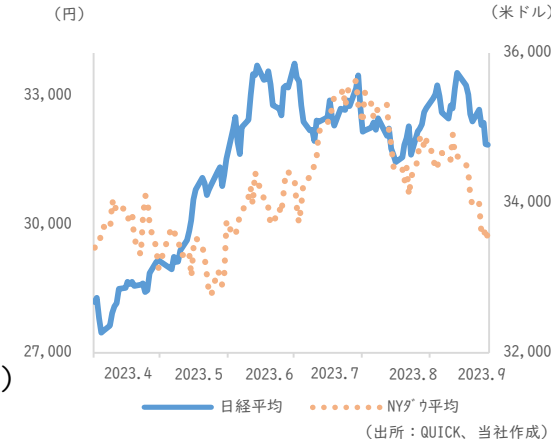
2024年3月期第2四半期の市場環境

■ 国内株式市場

- 米国著名投資家による日本株への追加投資表明が好感され上昇基調で推移（4月）
- インバウンド需要回復や好調な企業業績を背景に、33年ぶりに日経平均株価33,000円台を回復（6月）
- 中国大手不動産企業の経営不安や欧米の金融引き締め長期化懸念から、景気の先行き不透明感が強まる（8月～9月）
- 日経平均株価 9月末終値 31,857円62銭（前期末比13.6%）

■ 米国株式市場

- 景気的大幅な減速は避けられるとする「ソフトランディング」の期待が高まり、ダウ工業株30種平均は約36年ぶりに13営業日連続で上昇（7月）
- 米国連邦議会で予算を巡る協議が難航し、政府機関の一部が閉鎖される懸念が高まる（9月）
- ダウ工業株30種平均 9月末終値 33,507ドル50セント（前期末比0.7%）



2024年3月期第2四半期の実績・主な取り組み

- 日本株：株式委託手数料 前年同期比4.8%増
- 米国株：株券等トレーディング損益 前年同期比99.5%増
- **中堅7社中トップ**（営業収益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益）
中堅7社：いちよし、丸三、アイザワ、水戸、東洋、極東
- 1株当たり四半期純利益：**106円34銭**
- ROE：**8.5%** 業界（※）5位 前年同期6.3%
- 営業収益経常利益率：**31.2%** 業界（※）3位
- 固定費カバー率：**38.5%** 前年同期33.6%
- 連続経常黒字：**44**四半期
- インターネット取引「コスモ・ネットレ」において、**外貨決済サービス**を開始（2023年7月）
- 岩井コスモ証券の**新テレビCM**「対面取引篇」、「ネット取引篇」を放映

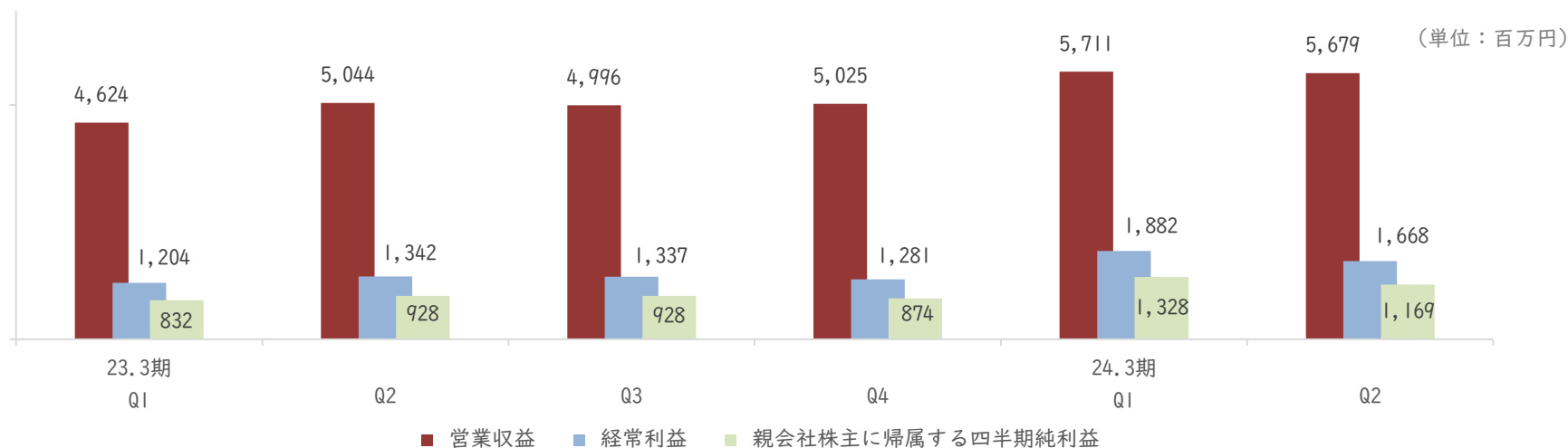
※リテール証券17社

- ・ **中堅証券7社中トップ**の営業収益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益
- ・ **44四半期連続の経常黒字**

(単位：百万円)

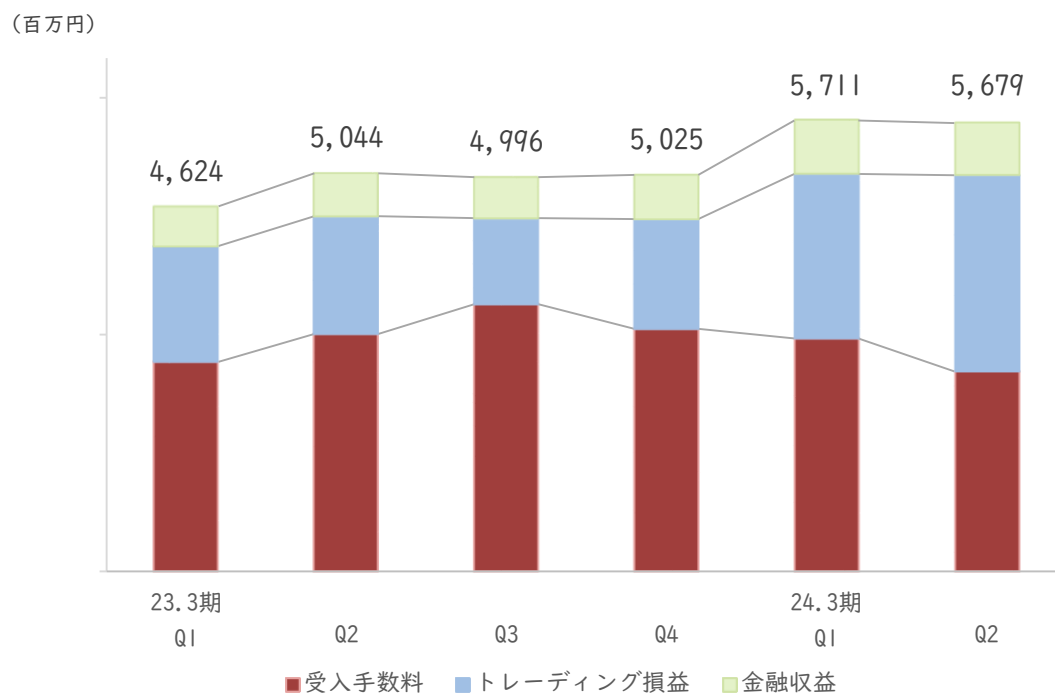
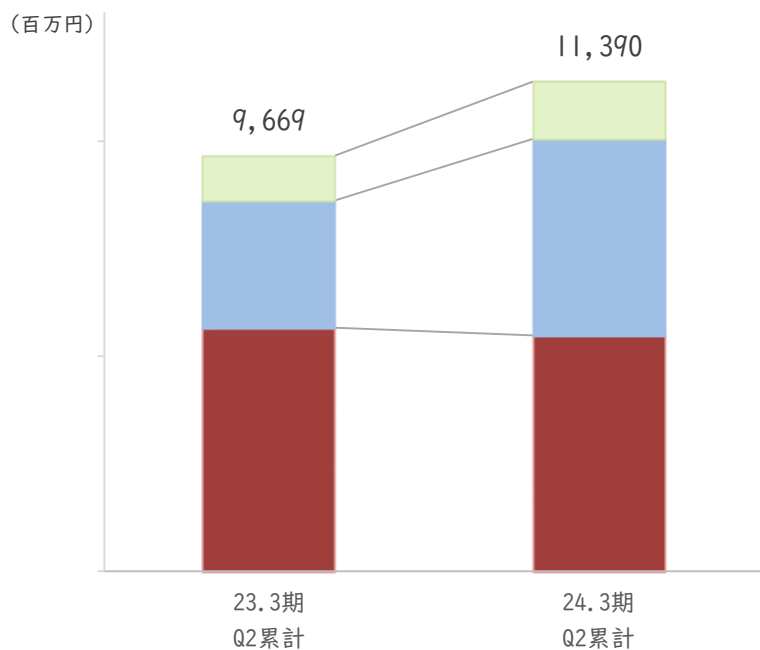
	2023年3月期	2024年3月期			前年同期比 増減率	前四半期比 増減率
	Q2累計	Q1	Q2	Q2累計		
営業収益	9,669	5,711	5,679	11,390	17.8%	△0.6%
純営業収益	9,542	5,630	5,614	11,245	17.8%	△0.3%
販売費・一般管理費	7,256	3,945	3,970	7,915	9.1%	0.6%
営業利益	2,285	1,685	1,644	3,329	45.7%	△2.4%
経常利益	2,546	1,882	1,668	3,551	39.4%	△11.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,760	1,328	1,169	2,497	41.9%	△11.9%
1株当たり四半期純利益	74円95銭	56円54銭	49円80銭	106円34銭	41.9%	△11.9%
1株当たり純資産	2,385円24銭	2,497円64銭	2,576円77銭	2,576円77銭	8.0%	3.2%
ROE	6.3%	9.1%	7.9%	8.5%	2.2pt	△1.3pt

※ ROEは年率換算

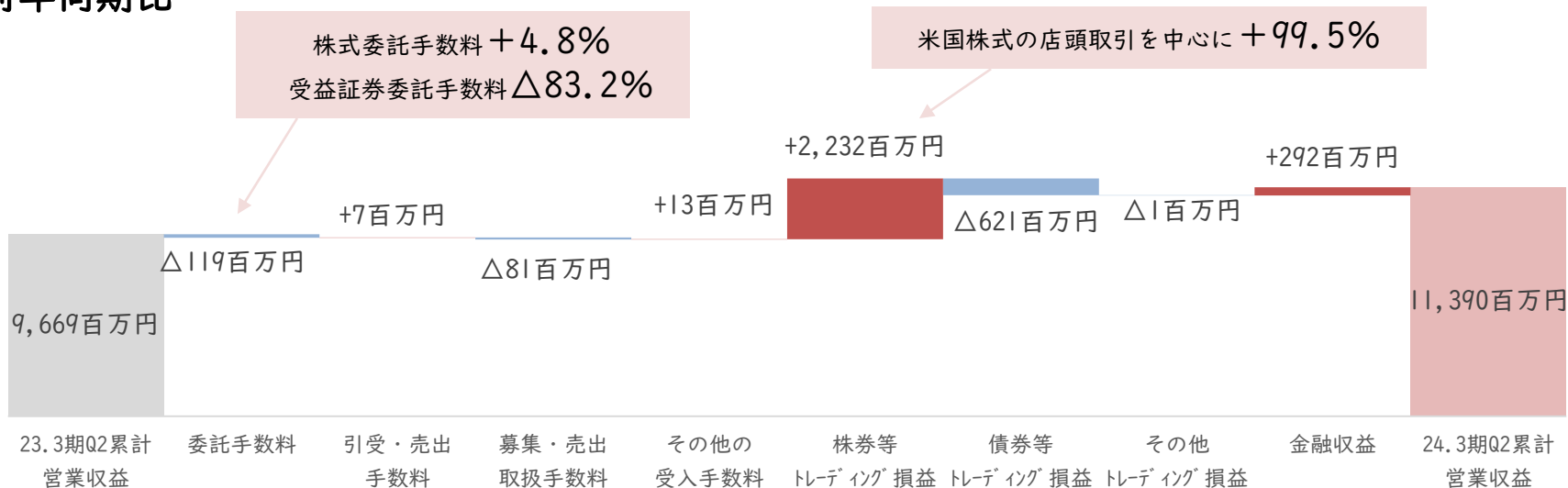


米国主要企業の堅調な決算内容を好感して取引が活発化し、トレーディング損益が前年同期比54.3%増加

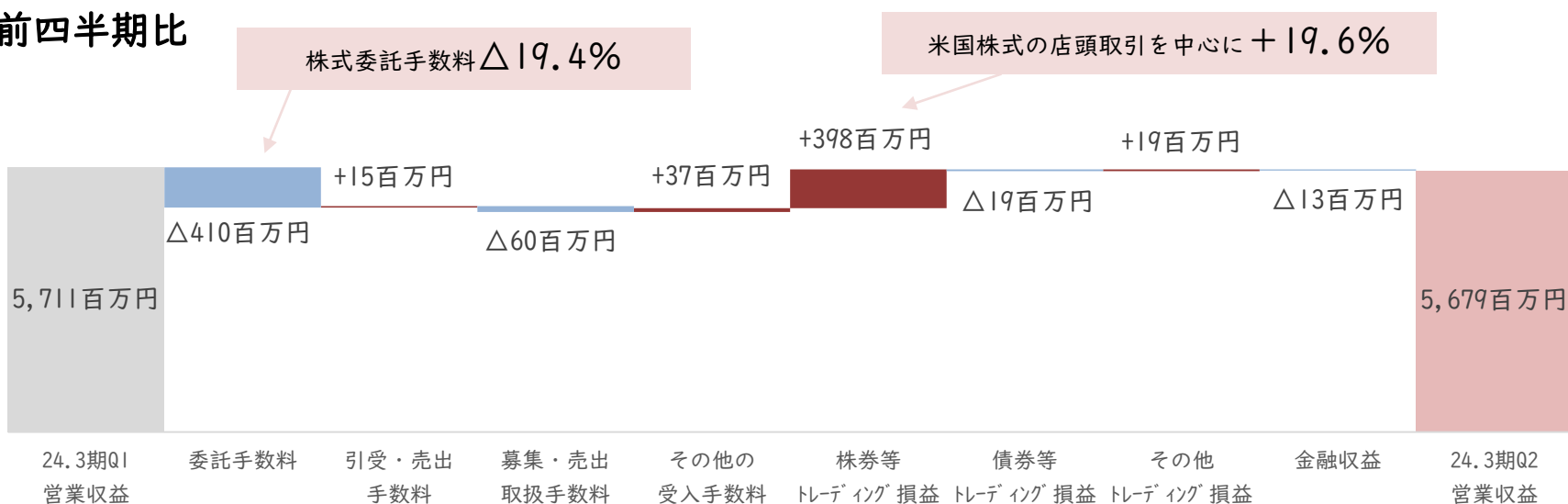
	(百万円)			(百万円)							
	23.3期 Q2累計	24.3期 Q2累計	前年同期比 増減率	23.3期 Q1	Q2	Q3	Q4	24.3期 Q1	Q2	前四半期比 増減率	
受入手数料	5,664	5,484	△3.2%	2,656	3,007	3,385	3,073	2,951	2,533	△14.2%	
トレーディング損益	2,961	4,570	54.3%	1,467	1,494	1,090	1,391	2,085	2,484	19.1%	
金融収益	1,042	1,335	28.1%	500	542	520	560	674	660	△2.0%	
営業収益	9,669	11,390	17.8%	4,624	5,044	4,996	5,025	5,711	5,679	△0.6%	



前年同期比



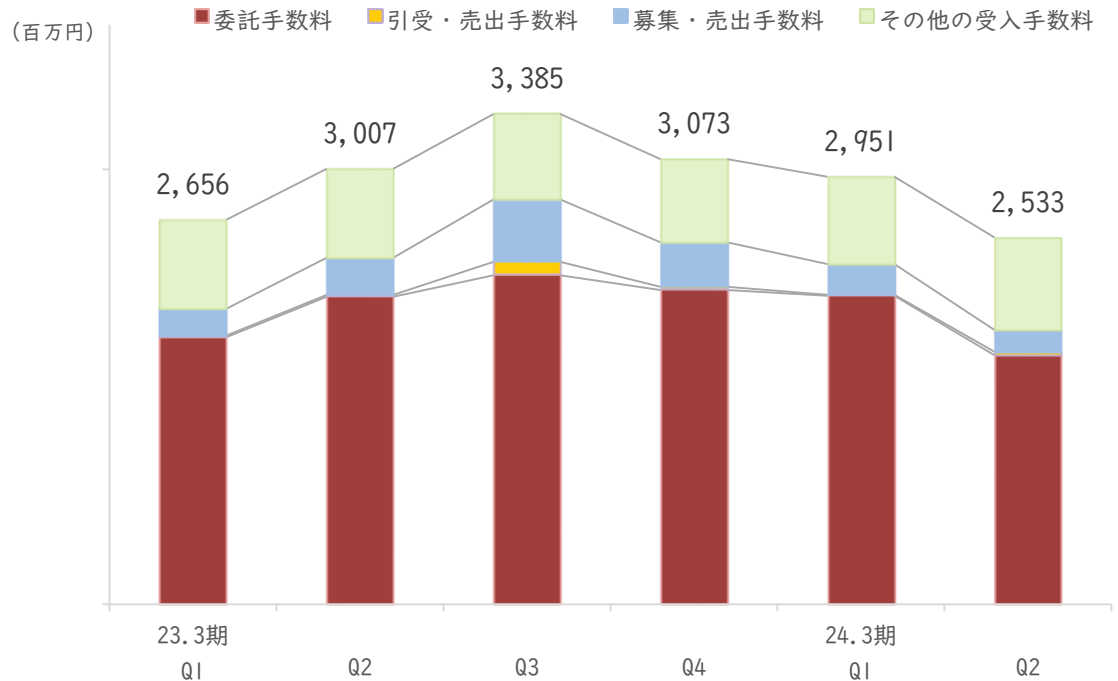
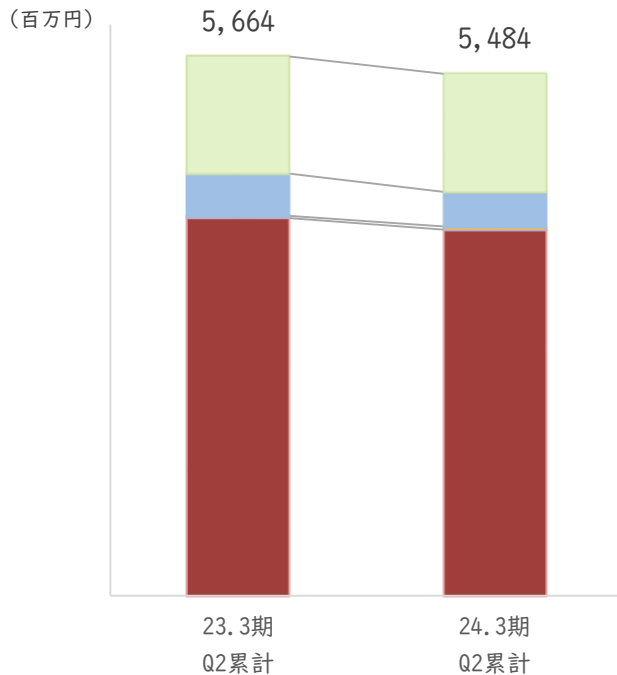
前四半期比



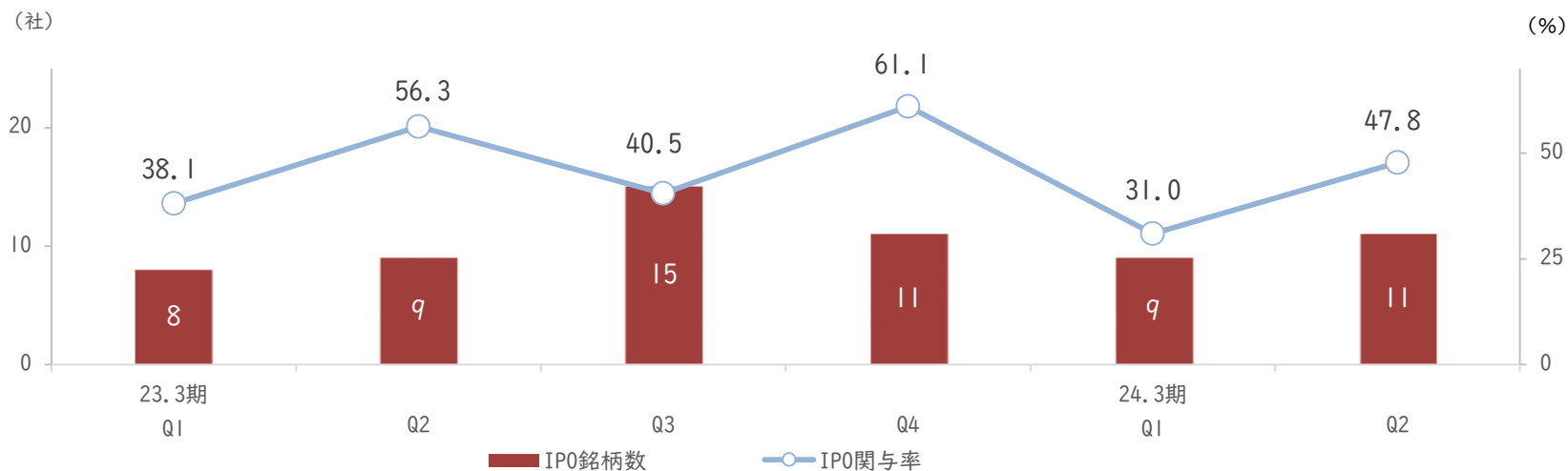
受入手数料

株式委託手数料が前年同期比4.8%増加したものの、受益証券委託手数料が同83.2%減少したことで、委託手数料合計では同3.0%減少

	23.3期			24.3期				前四半期比 増減率		
	Q2累計	Q2累計	前年同期比 増減率	Q1	Q2	Q3	Q4		Q1	Q2
委託手数料	3,966	3,846	△3.0%	1,844	2,121	2,269	2,169	2,128	1,718	△19.3%
引受・売出手数料	24	32	29.2%	10	14	93	21	8	23	190.2%
募集・売出手数料	445	363	△18.4%	187	257	431	307	211	151	△28.6%
その他の受入手数料	1,228	1,242	1.1%	613	614	590	574	602	639	6.2%
受入手数料	5,664	5,484	△3.2%	2,656	3,007	3,385	3,073	2,951	2,533	△14.2%

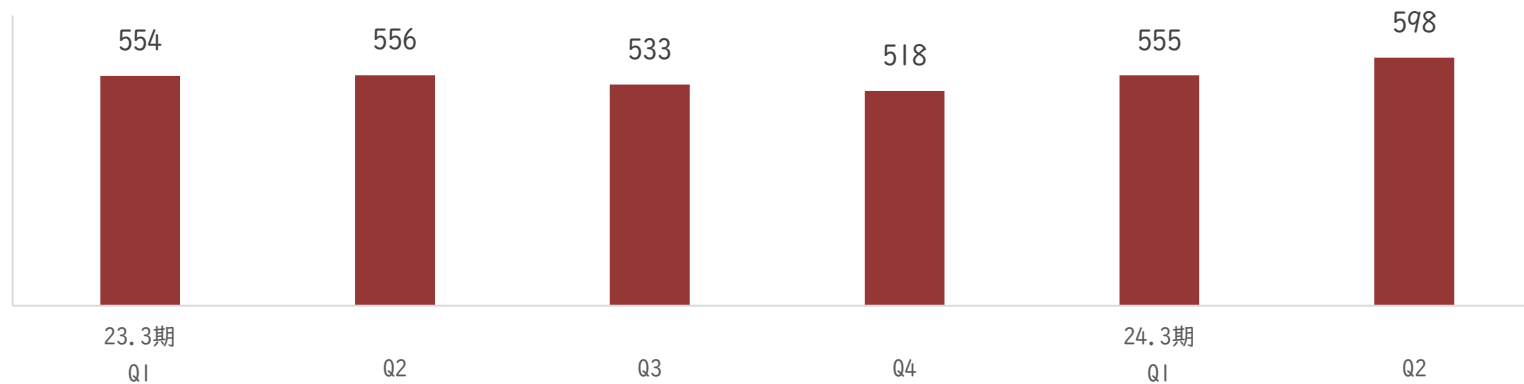


IPO引受実績



信託報酬の推移

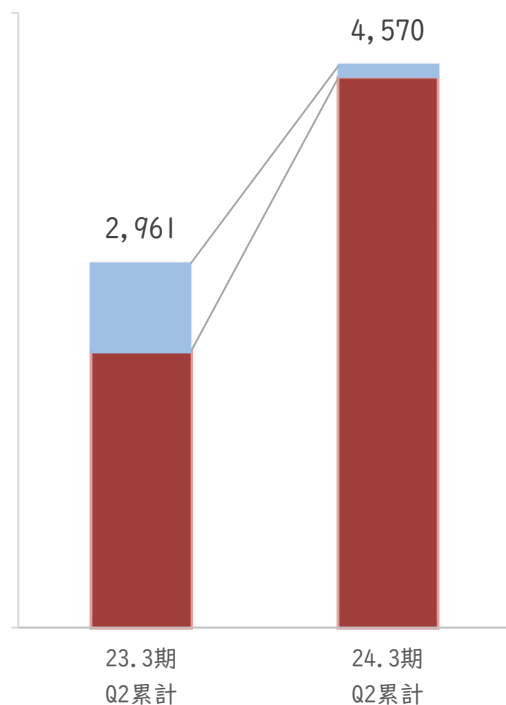
(百万円)



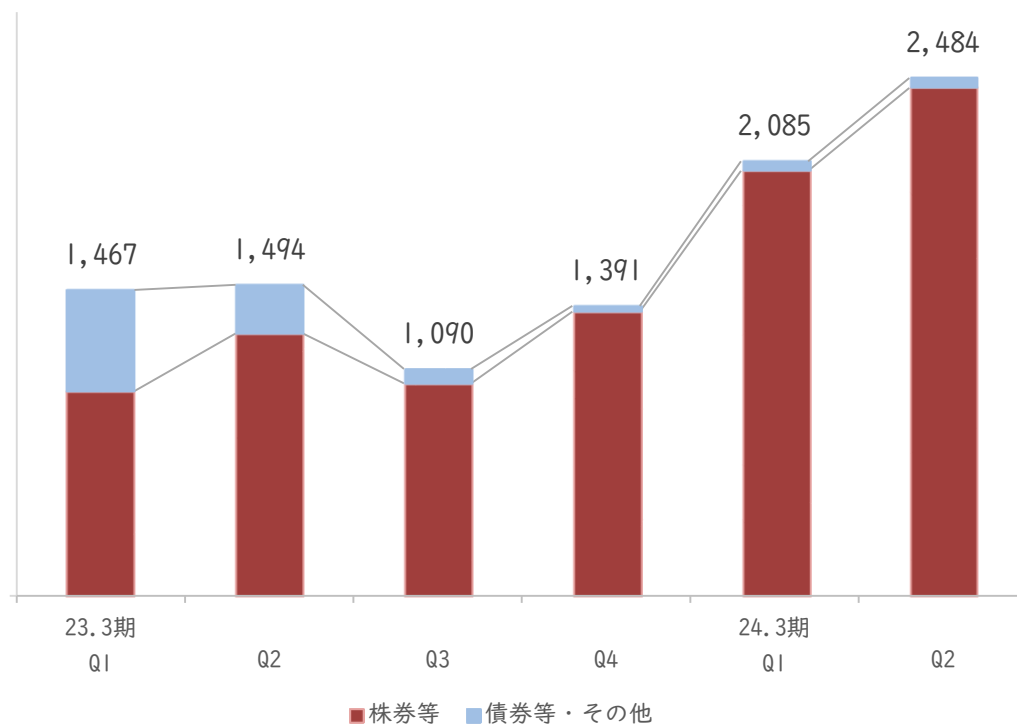
堅調な決算内容を好感して取引が活発化し、株券等トレーディング損益が増加

	23.3期	24.3期	前年同期比 増減率	23.3期				24.3期		前四半期比 増減率
	Q2累計	Q2累計		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	
株券等	2,243	4,475	99.5%	983	1,259	1,020	1,364	2,038	2,437	19.6%
債券等・その他	718	95	△86.8%	484	234	69	27	47	47	0.9%
トレーディング損益	2,961	4,570	54.3%	1,467	1,494	1,090	1,391	2,085	2,484	19.1%

(百万円)



(百万円)



※ 株券等は主に米国株式の店頭取引によるものです

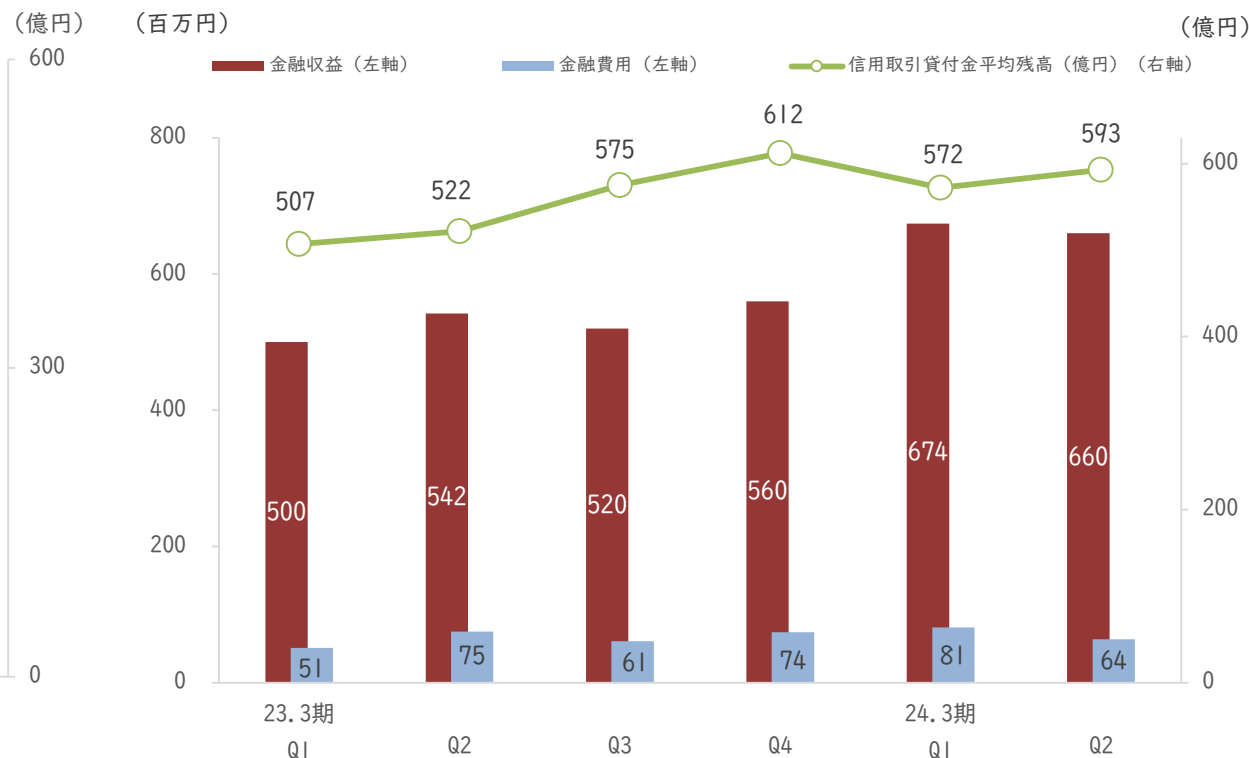
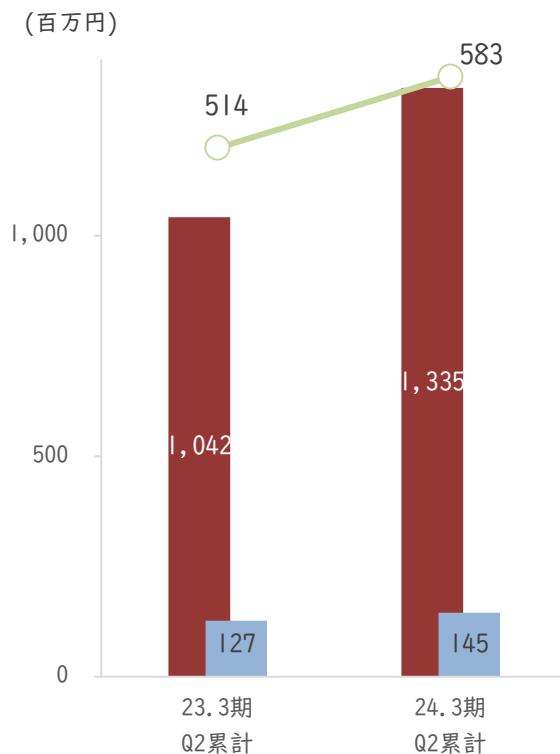
信用取引貸付金残高 627億円 (2023年9月末現在)

業界5位 (ネット証券除くリテール証券17社)

	23.3期 Q2累計	24.3期 Q2累計	前年同期比 増減率
金融収益	1,042	1,335	28.1%
金融費用	127	145	14.0%
金融収支	915	1,190	30.0%
信用取引貸付金 平均残高 (億円)	514	583	13.2%

(百万円)

23.3期	Q2	Q3	Q4	24.3期	Q2	前四半期比 増減率
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	
500	542	520	560	674	660	△2.0%
51	75	61	74	81	64	△20.9%
448	467	459	486	593	596	0.5%
507	522	575	612	572	593	3.5%

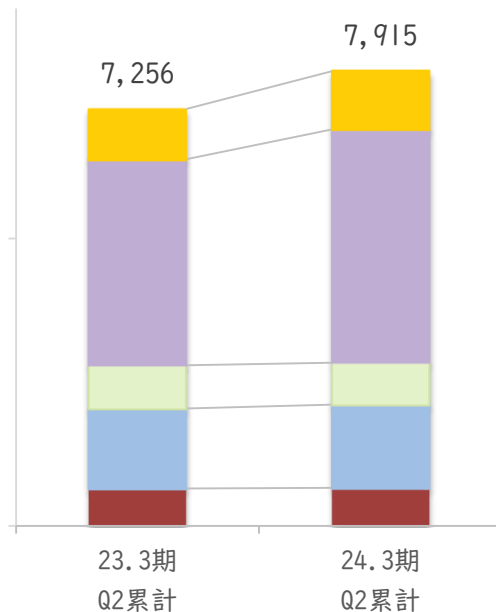


販売費・一般管理費

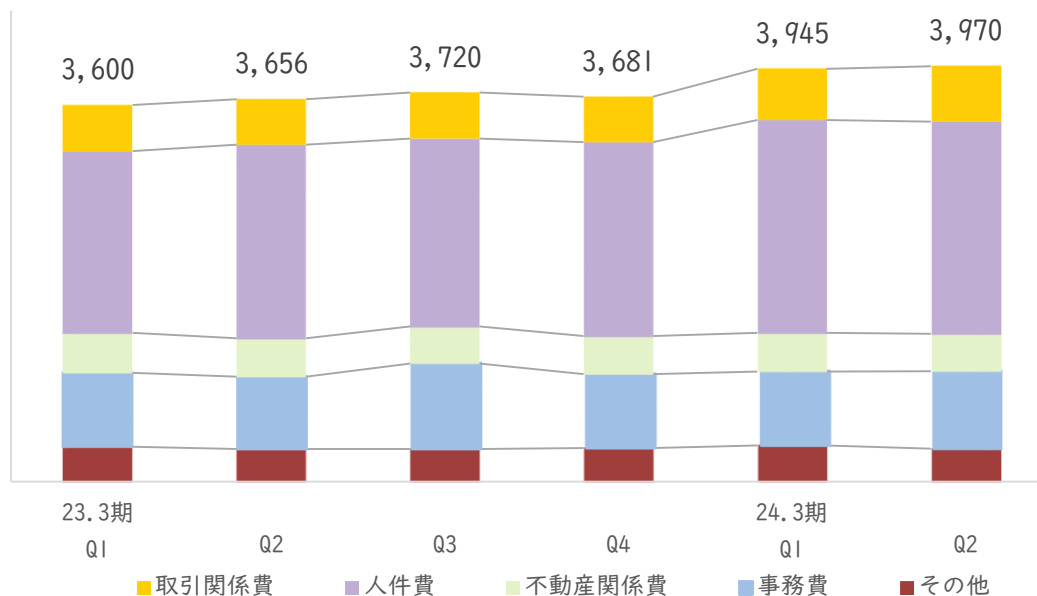
テレビCM放映料などの一時的な費用に加え、賞与などの変動費の増加を主因として、販管費合計は前年同期比9.1%増加

	23.3期 Q2累計	24.3期 Q2累計	前年同期比 増減率	23.3期 Q1	Q2	Q3	Q4	24.3期 Q1	Q2	前四半期比 増減率
取引関係費	875	1,015	16.0%	440	434	440	436	488	527	8.1%
人件費	3,586	4,059	13.2%	1,736	1,850	1,794	1,851	2,031	2,027	△0.2%
不動産関係費	748	729	△2.5%	381	366	355	365	370	358	△3.2%
事務費	1,397	1,448	3.7%	705	692	814	705	707	740	4.7%
その他	647	662	2.2%	335	312	313	321	346	315	△9.0%
販売費・一般管理費	7,256	7,915	9.1%	3,600	3,656	3,720	3,681	3,945	3,970	0.6%

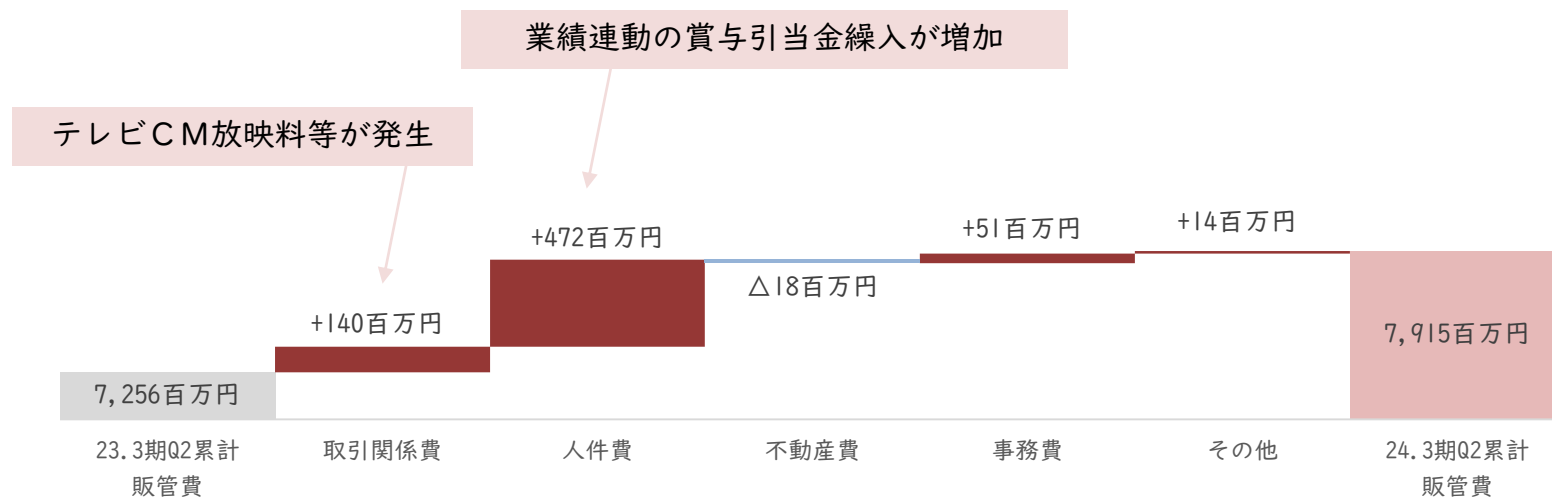
(百万円)



(百万円)



前年同期比



前四半期比



44四半期連続の経常黒字

(百万円)

	2023年3月期					2024年3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q2累計
営業収益	4,624	5,044	4,996	5,025	19,691	5,711	5,679	11,390
受入手数料	2,656	3,007	3,385	3,073	12,123	2,951	2,533	5,484
委託手数料	1,844	2,121	2,269	2,169	8,405	2,128	1,718	3,846
引受け・売出し等の手数料	10	14	93	21	139	8	23	32
募集・売出し等の取扱手数料	187	257	431	307	1,183	211	151	363
その他の受入手数料	613	614	590	574	2,393	602	639	1,242
トレーディング損益	1,467	1,494	1,090	1,391	5,443	2,085	2,484	4,570
株券等	983	1,259	1,020	1,364	4,628	2,038	2,437	4,475
債券等・その他	484	234	69	27	815	47	47	95
金融収益	500	542	520	560	2,124	674	660	1,335
金融費用	51	75	61	74	262	81	64	145
純営業収益	4,572	4,969	4,935	4,951	19,428	5,630	5,614	11,245
販売費・一般管理費	3,600	3,656	3,720	3,681	14,658	3,945	3,970	7,915
営業利益	972	1,313	1,214	1,270	4,770	1,685	1,644	3,329
営業外収益	233	31	124	66	456	198	29	228
営業外費用	1	2	2	55	60	1	5	6
営業外損益	231	29	122	11	395	197	24	221
経常利益	1,204	1,342	1,337	1,281	5,165	1,882	1,668	3,551
特別利益	0	-	△0	-	-	19	24	44
特別損失	-	-	0	0	1	-	-	-
特別損益	0	-	△0	△0	△1	19	24	44
税金等調整前四半期純利益	1,204	1,342	1,337	1,280	5,164	1,902	1,693	3,596
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	832	928	928	874	3,564	1,328	1,169	2,497

主要経営指標 推移

	2023年3月期					2024年3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q2累計
営業収益経常利益率	26.0%	26.6%	26.8%	25.5%	26.2%	33.0%	29.4%	31.2%
ROE	6.0%	6.7%	6.6%	6.1%	6.2%	9.1%	7.9%	8.5%
1株当たり当期 (四半期) 純利益	35円43銭	39円52銭	39円55銭	37円23銭	151円73銭	56円54銭	49円80銭	106円34銭
自己資本規制比率	776.8%	732.3%	736.5%	740.8%	740.8%	846.9%	839.5%	839.5%

ROE：年率換算

参考：経営成績時系列 年度推移

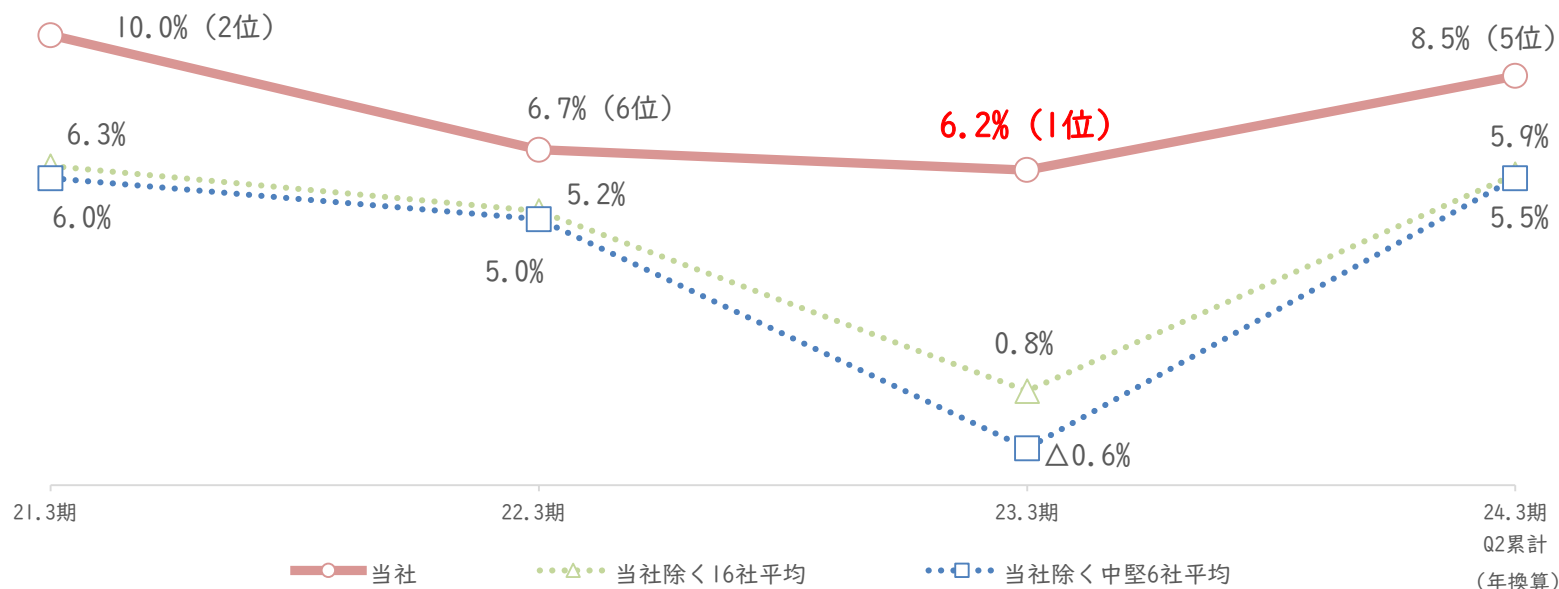
(百万円)

	2019.3期	2020.3期	2021.3期	2022.3期	2023.3期	2024.3期 Q2累計
営業収益	21,241	18,948	22,993	20,708	19,691	11,390
経常利益	5,924	4,239	7,530	5,799	5,165	3,551
当期純利益	4,148	2,700	5,362	3,756	3,564	2,497
営業収益経常利益率	27.9%	22.4%	32.8%	28.0%	26.2%	31.2%
(業界順位 ※1)	1位	1位	3位	3位	1位	3位
(業界平均 ※2)	4.0%	3.4%	19.8%	13.0%	△2.5%	18.6%
1株当たり配当金	75円	75円	117円	80円	80円	20円
配当性向	42.5%	65.2%	51.3%	50.0%	52.7%	18.8%

※1 ネット專業証券を除く上場証券と大手証券会社

※2 当社を除く業界単純平均

ROEの推移



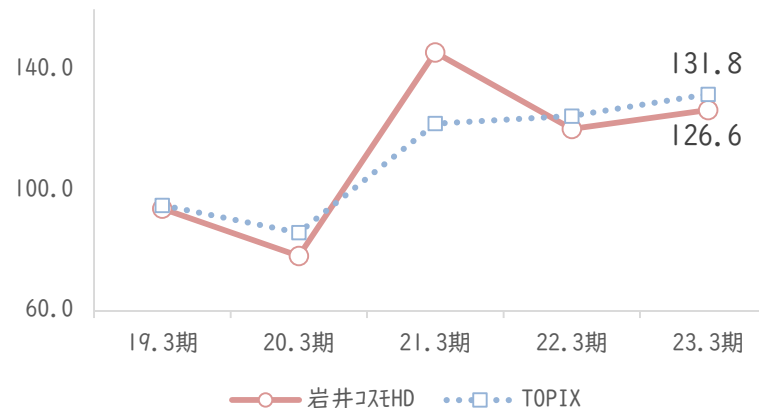
(注) リテール証券17社

参考：株主総利回り (TSR)

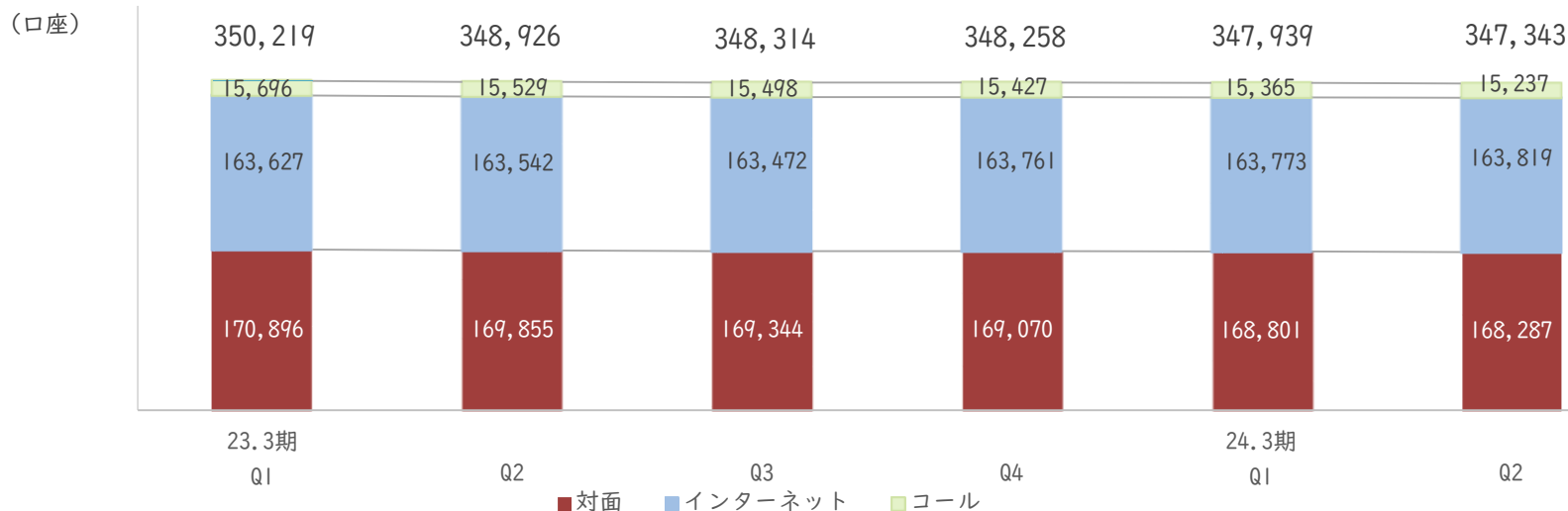
株主総利回り (TSR : Total Shareholder Return)

	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期
岩井コスモHD	93.9	78.2	145.7	120.3	126.6
TOPIX	95.0	85.9	122.1	124.6	131.8

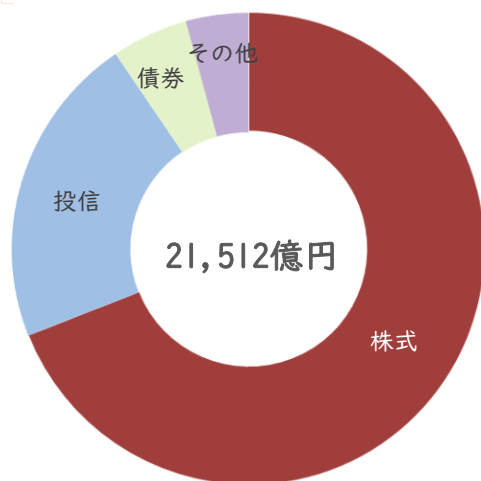
TSR = (各事業年度末日の株価 + 当事業年度の4事業年度前から各事業年度までの1株当たり配当額の累計額) ÷ 当事業年度の5事業年度前の末日の株価



口座数の推移

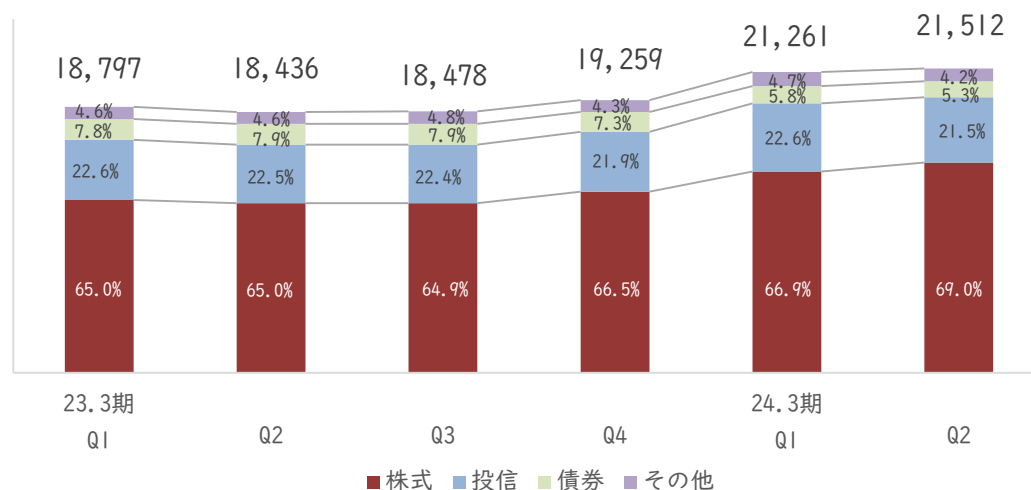


預り資産



(億円)

預り資産の推移



1株当たり：20円

効力発生日：2023年11月24日

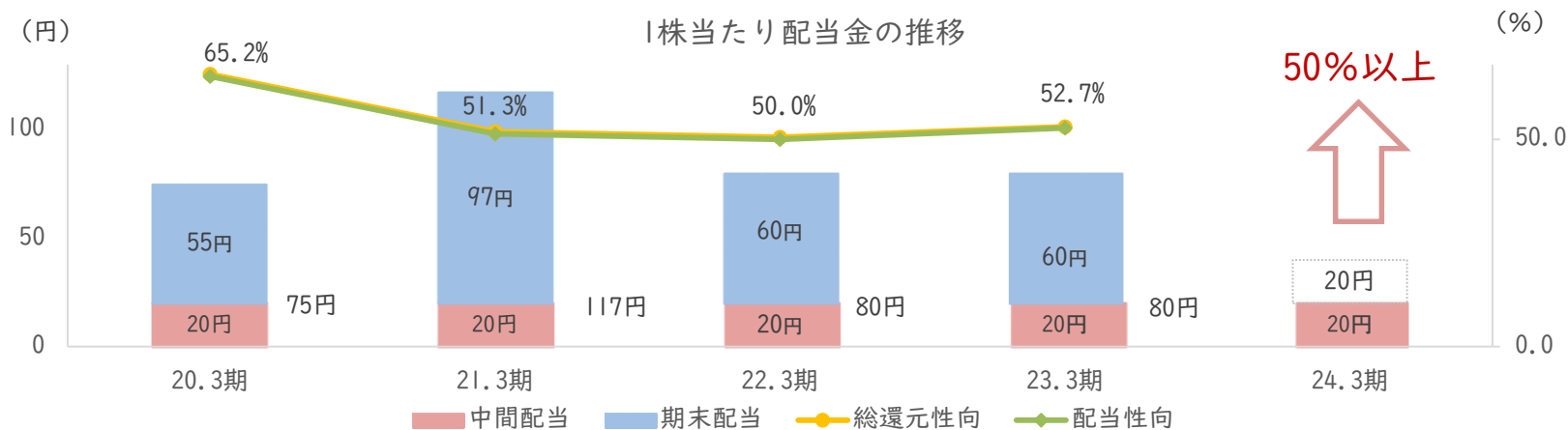
当期の中間配当金は、経済情勢や市場環境の変動によって業績が変動しやすい証券業の特性を踏まえて保守的に見積もり、1株当たり20円（前中間期：1株当たり20円）とさせていただきます。なお、年間配当金については、連結ベースの総還元性向を50%以上とさせていただきます。

1株当たり配当金等推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
中間配当	20円	20円	20円	20円	20円
期末配当	55円	97円	60円	60円	-
年間配当	75円	117円	80円	80円	-
配当性向	65.2%	51.3%	50.0%	52.7%	-
純資産配当率	3.5%	5.1%	3.3%	3.3%	-

参考：株主還元策（中期経営計画期間：2023.3期～2025.3期）

- ・ 1株当たり年間配当金：40円（下限）
- ・ 且つ連結ベース総還元性向：50%以上



※ 総還元性向 = (配当金額 + 自己株式取得金額) ÷ 連結当期純利益 × 100 (%)

現状評価

2023年9月末日現在の当社の株価は、1,747円であり、PBR（株価純資産倍率）については0.68倍となり、企業の資産価値に対し株価が割安な状況（1倍未満）となっております。

もっとも、当社は、2024年3月期第2四半期における営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については**中堅証券7社中トップ**、さらに**44四半期連続経常黒字**を達成するなど、経営において**高い健全性を維持**しております。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

収益向上の施策

◆戦略的投資

- ・小規模店舗（プラザ）出店による営業カバーエリア拡充
- ・お客様の利便性向上を目的としたネット取引サービスの拡充（シニア世代のサポート強化）

◆デジタルトランスフォーメーション（DX）推進

- ・将来において高い可能性を秘めた新技術である生成AI等を活用した労働生産性の向上
- ・データ収集・分析に基づいた営業活動の推進による業務効率化

◆営業力の強化

- ・トップダウンによる組織の統率力強化とボトムアップによる自律型の業務推進
- ・一定期間未稼働である顧客へのアプローチ強化とフォローアップの推進

◆人的資本投資

- ・自律型人材の育成を目的とした研修や勉強会等の実施
- ・業務に有益な各種資格取得のための助成制度を拡充

安定的な株主還元

◆安定配当の継続と業績連動の利益還元

- ・第5次中期経営計画の期間中（2023年3月期～2025年3月期）は、1株当たり年間配当金40円を下限に連結ベースでの総還元性向50%以上

積極的なIR活動

◆IR情報の積極配信

- ・当社の業績やサステナビリティ等に関する取り組みを、投資家にわかりやすく伝えるためのIR情報の拡充と積極的な情報発信

◆当社コーポレートサイトをリニューアル（2023年9月29日実施）

- ・「より見やすい」デザイン、「より使いやすい」操作性を目指すとともに、スマートフォンやタブレットなど多様化するデバイス機器に対応

■ 社会貢献活動

- 社会貢献積立金制度（2021年3月期～）を導入
- 「国際金融都市OSAKAの取組推進に関する連携協定書」を締結
- 株主優待品等の有効活用を目的として、日本証券業協会が運営する「こどもサポート証券ネット」に参加し、最多となる支援活動に貢献
- 発行手数料の一部がSDGs関連団体へ寄付される「SDGs推進私募債」を発行



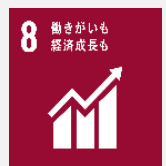
■ 環境負荷の軽減

- TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言へ賛同
- 環境に配慮した頒布品や古い紙幣（紙幣裁断屑）を再利用した封筒の利用
- 電気自動車を営業車両として本社に導入
- 営業店の照明をLEDへ順次切り替え
- 東京本部（茅場町グリーンビル）は、地球にも人にもやさしい「ハイブリッド放射空調システム」等を採用した最先端の省エネビルであり、消費電力量や水資源の効率的な節約を実現
- 2025年3月期までにCO₂排出量55%以上の削減目標に対して、2023年3月期末で56.2%の削減を実現し、当初の目標から**2年前倒して達成!**



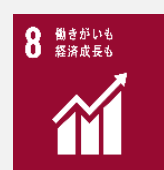
■ デジタル化によるサービス向上とペーパーレス化

- 全営業員に携帯電話やタブレット端末を貸与し、営業資料等を電子書面化しペーパーレスを推進
- RPA（Robotic Process Automation）を利用した事務作業のオートメーション化を推進
- コンプライアンスのさらなる強化とお客サービス向上を図るため、営業員とお客様の通話内容のモニタリングにAIを活用した音声認識システムを活用
- 将来において高い可能性を秘めた新しい技術である「**生成AI**」の導入



■ ワークライフバランスへの取り組み

- 時差勤務や直行直帰など多様な働き方を可能とした制度
- 総務省の「テレワーク先駆者百選」（2019年11月）、一般社団法人日本テレワーク協会「テレワーク推進賞」において「奨励賞」（2020年1月）を、それぞれ証券会社として初受賞!!



■ 多様な人材の活躍推進

- 女性役員比率 33.3%（9名中3名）
政府が東証プライム上場企業に対し求める目標（2030年までに30%）を達成!
- 女性管理職比率 19.2%（2023年9月末現在）

新聞掲載・プレスリリース等

2023年	5月	6日	毎日放送 (MBS) の「NEXT JAPAN ~ 熱き求道者」において、対面取引の魅力や銘柄選定会議など当社の取り組みが紹介されました
	5月	17日	SDGsの取り組みの一環として、「WFP国連世界食糧計画」、「子供の未来応援寄金」より感謝状を受領
	7月	31日	インターネット取引「コスモ・ネットレ」の米国株式リアルタイムトレードシステムに「外貨決済サービス」を導入
	8月	～	岩井コスモ証券 新TVCM (対面取引篇、ネット取引篇) を放映 ※ ホームページに掲載： https://www.iwaicosmo.co.jp/lp/tvcm/
	9月	29日	岩井コスモHD 公式ホームページをリニューアル



#656 2023/05/06 とことん寄り添う証券マン

急成長するネット証券…それでも対面取引を大切に。新人時代、父の退職金で損失…理由は経験の浅さ。「経験不足は知識で補う」皆で情報共有し推薦銘柄を選定→客への提案に。

毎日放送 (MBS) の「NEXT JAPAN ~ 熱き求道者」において、当社の対面取引の取り組みが紹介されました

「国連WFP協会」からの感謝状授与式



(写真左より)
国連WFP協会 青木事務局長
当社代表取締役会長CEO 沖津 嘉昭

「こどもの未来応援基金」からの感謝状授与式



(写真左より)
日本証券業協会 岳野副会長・専務理事
当社代表取締役会長CEO 沖津 嘉昭

7月31日(月) 外貨決済サービス開始!

外貨決済 ができて NISA が使えて

米国株 一番安い

取引手数料が

岩井コスモ証券ネット取引「コスモ・ネットレ」

米国株式リアルタイムトレードに「外貨決済サービス」を導入

岩井コスモ証券

新テレビCM「対面取引篇」

機能満載

米国株のリアルタイムトレード可能

TVCM 放映中

新テレビCM「ネット取引篇」



岩井コスモホールディングス IwaiCosmo Holdings, Inc.

(お問合せ先)

岩井コスモ証券株式会社 総務部

TEL 06-6229-0291 FAX 06-6202-3927

本資料は、2024年3月期第2四半期までの業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
本資料は、2023年9月30日までのデータに基づき作成しており、意見や予測は当社の見通しとなっております。
また、当社の業績を保証するものでなく、今後予告なしに変更されることがあります。
本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましては、その責を負いかねますのでご了承ください。
なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写・複製、または転送等を行わないようお願い致します。